

富山県道路メンテナンス会議を設立

会議の概要

1. 目的

道路施設の点検や補修・更新等について、全ての道路管理者が相互に連絡・調整を行い、関連情報の共有により、その実態を把握したうえで、国民の理解を得ながら、協力して道路施設の老朽化対策の強化を図ることを目的とする。

2. メンバー

- ・全道路管理者(地整・県・市町村・高速会社・道路公社・建設技術センター)で構成。
- ・会長は富山河川国道事務所長、副会長は富山県土木部道路課長、中日本高速道路株式会社金沢支社富山保全・サービスセンター所長。市町村は担当部長クラス

3. 主な取り組み

- ① 研修・基準類の説明会等の調整
- ② 点検・修繕を進める仕組みに関する調整(跨線橋点検時の関係機関との協議に関する支援等)
- ③ 点検・措置状況の集約、評価、公表
- ④ 点検業務の発注支援(地域一括発注等)
- ⑤ 技術的な相談対応
- ⑥ 道路の老朽化対策に関する理解促進 等

設立会議開催状況

「第1回 富山県道路メンテナンス会議」

- ・日 時：平成26年5月27日(火) 10:00～11:30
- ・場 所：富山河川国道事務所 3階大会議室
- ・メンバー：県内の道路管理関係者全員出席
(県、全市町村、高速会社、国道事務所、(公財)富山県建設技術センター)
- ・議 事：①設立趣意書及び規約の承認、②情報提供、③今後の進め方、④意見交換

県内全ての道路管理者が一堂に会し、老朽化対策への今後の連携・協力強化を確認



挨拶 富山河川国道事務所長



会議の状況

【意見交換での主な意見】

- ・財政状況が厳しいことに加え、技術者不足のため、効率的な維持管理が行えるか不安。
- ・メンテナンスに関する最低限のルールや基準が未確立。
- ・県も各市町村も技術者不足が深刻なため、国による人材確保・育成の支援充実を。
- ・今年度、市長からのトップダウンで組織改正した。老朽化対策の推進にはトップの理解が必要。
- ・国道、高速道路、県道、市町村道毎に道路の状況に応じた管理が必要であり、道路管理者間の情報共有を図りながら円滑に進めることが重要。 等